

H26 秋季大会 静内高校(準々決勝)①

静内の小田完投、1失点

<Bブロック>

工	6-5
栄	12日11:30
内	10-0
も	6-1
西	13日12:30
水	11日9:00
別	16-0
南	12日14:00
東	10-0
富	11日11:30
川	
栄	

静内は6安打ながら、相手の隙を見逃さず得点を重ねた。四回、2四球で2

死一、二塁とすると、敵失で先制。以降も四球や敵失で得た好機を着実に生かし、突き放した。先発小田は8奪三振で完投。

苦西は13四死球を与え、



失点1で完投した静内の小田克哉投手

5失策と守備が乱れた。

静内を6-0で破る

A black and white photograph capturing a dramatic moment during a baseball game. In the foreground, a player wearing a white uniform with the number 18 on his back is running towards home plate. To his right, a catcher in a dark uniform is crouched, ready to receive the ball. Another player in a white uniform is sliding into the plate from the right, with his arms raised in a celebratory gesture. In the background, other players are visible, including one standing near the outfield fence. The scene is set on a baseball field with a dirt infield and a grass outfield.

春のセンバツ甲子園に向け
た1、2年生の新チームで挑
む支部予選は7日に開幕。胆
振、日高の単独、合宿2チー
ムが出場し、A、Bの2プロ
ックに分かれて7日にわたっ
てトーナメント戦を繰り上げ
てきた。

△ブロック代表の駒大西小牧、Bブロック代表の北海道栄の2校は、10月6日から札幌山田、麻生の両球場で開かれる全道大会出場権を獲得した。

▽Bブロック代表決定戦

▽Bブロック代表決定戦

静内	
00	
00	
00	
10	
00	
00	
00	
50	
X0	
60	

北海道栄

田
 (静) 小田、木村、釜田
 (北) 金澤、佐々木、林、成
 田
 (龍代、三科、大江、佐々木)

(以上北)
道栄が2年ぶりの全道大会
出場を決めた。1点リードし
て迎えた8回、途中出場した
成田の飛飛、松村の適時打な
どで一挙5点を奪い、点差を

静内	打安点
⑧前野	400
⑦東	310
⑥中田	310
③村田	300
②免田	300
①小田	100
⑨西	000
H龜谷	200
9吉田	100
⑤川瀬	000
④鳥谷	310
	200
	253

振球	犠盗	残失
105	205	1
投手		回
小田	8	4
木村		3

北海道栄	打安点
④公平	310
⑤上西	300
⑧能代	420
⑨加藤	410
③大江	221
②林	100
2成田	001
⑦三科	211
7松村	211
①金澤	200
1佐々木	211
⑥上野	410
	29105

振球機	22	54	60	失
投手				回
金澤			6	局
佐々木			2	%

広げた。先発の金澤、2番手
佐々木の継投策で静内打線を
封じた。

継投に迷い
悔やむ

静内「1年生の
底上げを」

小田、木村の左腕2枚看板で今大会を勝ち上がってきた。代表決定戦でも縦投策謀で相手打線を封じる構えだったが、「代え時を逃してしまっただけ」と高橋監督が悔やむ。ついに、縦投した8回に大満点弾を奪われた。

打者もヒットや四死球で先頭打者を出す回が多かったが、あと一本がたがらない。「2、3点は打ち返せる力があった」前チームとは違い、足を使った機動力野球を展開したかったが、けん制球で仕留められるなど攻め切れなかった。

2年生がわずか4人と1年生主体の新チーム。最終日目で試合ができたことは来季につながる大きな経験になった。「また自分たちの力を分かっていない子が多い。1年生選手の底上げを図りたい」と監督は話した。

